



「音楽と活気あふれるまち」をともに目指して

関西フィルハーモニー管弦楽団との協定事業を 含む補正予算など22議案を可決

第4回定例会 第2回臨時会

令和2年第4回定例会は、12月7日に開会し、「令和2年度門真市一般会計補正予算（第11号）」など、市長提出議案19件、議員提出議案2件、請願1件について慎重に審議した結果、請願については、不採択とし、その他の議案は、いずれも原案のとおり可決及び同意しました。

また、令和2年第3回定例会において、閉会中の継続審査に付されていた決算関係議案5件についても、認定並びに原案のとおり可決し、12月18日に閉会しました。

なお、11月30日に開かれた第2回臨時会では、市長提出議案「一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について」を慎重に審議し、原案のとおり可決しました。

第4回定例会

2年度補正予算(1) (一般会計補正予算(第11号))

(議決結果) 反対討論の後、
賛成多数で可決

(民生水道常任委員会 審査概要)

関西フィルハーモニー × 門真市
今後の活動内容が明らかに

問 協定締結の経緯は。

答 関西フィル側としては、ルミエールホール大ホールで練習ができることで演奏のレベルアップにつながり、市としては、同ホールでの演奏会や子どもを対象とした文化事業を展開することができ、市の文化芸術施策に対するイメージの向上が見込ま

れ、さらに平日の稼働率が低い大ホールの有効活用ができるなど、双方の利点が一致し協定締結に至った。

問 先行イベントの内容は。

答 4月から開始する活動を市民に広く周知するため、12人編成の先行演奏会を予定している。コロナ禍の状況に鑑み、演奏会の様子はネット上で広く公開する予定である。

問 今後の活動内容は。

答 定期演奏会の開催や子ども向け鑑賞機会の創出、公開リハールなど、幅広い世代の市民が音楽を身近に感じ、文化芸術に親しみを感じることができるよう機会を創出していく。

また、吹奏楽フェスティバルなどとの連携や、ふるさと納税返礼品として関西フィルの演奏を加えることも考えている。

問 市民への周知方法は。

答 ホームページなどへの掲載、公共施設や商業施設へのチラシ、ポスターの掲出のほか、古川橋駅から同ホールまでの街路灯へのフラッグ取り付けや、市庁舎での懸垂幕の掲出等を実施する。



もくじ

- 第4回定例会の概要……………1～3ページ
 - ・一般会計補正予算(1)
 - ・一般会計補正予算(2)、指定管理者を決定、人事案件など
 - ・意見書、請願
- 第2回臨時会の概要……………3ページ
- 一般質問……………3～7ページ
- 議決結果、議会活動日誌……………8ページ

(文教子ども常任委員会 審査概要①)

保護者の利便性向上等に向けて
保育支援システム導入へ

問 公立保育所等に導入する保育支援システムの概要は。

答 公立保育所等にて、園児の登降園状況や各種指導計画等を電子化しペーパーレス化を図り、スマホの保護者アプリなどを活用し保護者へのお知らせ配信や出欠連絡等を段階実施する。

問 同システムの効果は。

答 職員の事務負担軽減や保護者の利便性向上のほか、新型コロナウイルス対策につながると考えている。

問 スマホを持っていない保護者への対応は。

答 従来どおり紙媒体で文書を配付するなど柔軟に対応していく。

2年度補正予算(2)

(一般会計補正予算(第11号))

(文教子ども常任委員会審査概要②)

児童・生徒用タブレットを支援

ヘルプデスクの設置へ

問 ヘルプデスクの内容は。

答 クロームブック端末やグーグルサービスに係る不具合や課題に対し、専門の知識で対応できる体制を恒常的に整備するものである。

主に学校のトラブルや活用サポートとなるが、加えて教育委員会のサポートも含めた内容となっている。

問 期待される効果は。

答 学校で不具合や疑問が生じた際、電話窓口を一本化でき、どこに電話をかけたらよいかわからない状況を回避でき、また、専門的な知識や経験によって、問い合わせ内容の精査や迅速な対応ができると期待している。

さらに、限られた人員体制の中、持続的で安定的な運用を図っていく上で大きな一助になると期待している。

問 端末保証とヘルプデスクの違いは。

答 端末保証はハードウェアが故障した際の修理に関する対応で

ある。ヘルプデスクは端末運用の中でさまざまな問い合わせに対応するもので、突然の不具合や故障、クロームブックの機能や権限設定、使い方やグーグルサービス全般に係る問い合わせへの対応、コールセンター及び現地対応、年次更新サポートを可能とするものである。

問 GIGAスクールサポーターの役割は。

答 同サポーターは、主に学校の既存機器の確認や設定変更、今回導入する端末も含め、さまざまな機器やサービスの教員向け手順書、研修資料の作成を行う。

図書館など

指定管理者を決定

公の施設等の指定管理者の指定の4議案について、下表のとおり指定するため、議会の議決を求めるものです。

(議決結果) 下表のとおり可決

総務建設常任委員会
民生水道常任委員会
審査概要



問 図書館の指定管理者の業務は。

答 窓口業務や蔵書管理業務等の図書館運営全般である。

問 募集に当たって複数の業務内容が組み込まれている理由は。

答 生涯学習複合施設の開館1年前より新橋町の現図書館の管理運営を指定管理者として行わせ、現図書館と同複合施設の管理運営業務等を担う事業者を一体的に公募、選定し複数の業務を包括する基本契約を締結するためである。

問 事業スキームは。

答 基本設計や実施設計業務、建設工事を行う施設整備事業者を分離したスキームとした。

問 現図書館から指定管理者制度を導入する理由は。

答 現図書館での運営業務を通じ、直営により培ってきた運営ノウハウを指定管理者に継承するとともに、現図書館運営の課題抽出及び整理を行わせることなどにより、同複合施設内に移転する新図書館でのサービスの向上が図れるものと考えているため。

問 引き継ぎスケジュールは。

答 同制度開始の数カ月前からを

想定している。

問 今回議案を提出した理由は。

答 将来的に同複合施設の管理運営者となる現図書館の指定管理者が設計支援業務も担うことから、同業務の予算議案と合わせて審議してもらうためである。

良好な土地利用促進へ

門真市東部大阪都市計画地区計画(北島東第2地区)の区域内における建築物の制限等に関する条例の制定については、建築基準法第68条の2第1項及び都市緑地法第39条第1項の規定に基づき、東部大阪都市計画地区計画(北島東

第2地区)の区域内における建築物の敷地及び構造に関する制限並びに緑化率の最低限度に関し、必要な事項を定めるものです。

(議決結果 全員異議なく可決)

(総務建設常任委員会審査概要)

問 条例制定の目的は。

答 第二京阪道路の広域交通網を生かした良好な地域環境や景観の維持保全を図るため、建築物の用途に関する制限、敷地面積の最低限度、高さの最高限度、壁面の位置に関する制限、垣または柵の構造の制限、緑化率の最低限度について定めるものである。

問 制定の効果は。

答 地区計画により定められた建築物の制限等が、建築基準法に基づく建築確認の審査事項となり、より実効性の確保が図られることとなる。

人事案件に同意

〈人権擁護委員候補者の推薦〉

門真市上島町5番37号

白土清治

本件は同委員の任期が3年6月30日をもって満了することに伴い、提案されたもので、推薦に同意しました。

第4回定例会で議決した

指定管理者制度関連議案

指定管理者制度とは

平成15年の地方自治法改正により、文化・スポーツ施設等の公の施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上や経費の節減などを図る目的で導入された制度。



施設別指定管理者一覧表

議案番号	施設名	指定管理者	指定期間	議決結果
議案第85号	・門真市立公民館 ・門真市立門真市民プラザ	特定非営利活動法人 トイボックス	3年4月1日 ～ 7年3月31日	全員異議なく可決
議案第86号	・門真市立図書館	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	6年4月1日 ～ 7年3月31日	反対・賛成の討論の後、賛成多数で可決
議案第87号	・本町市営住宅 ・寿市営住宅 ・新橋市営住宅 ・門真住宅 ・門真千石西町住宅 ・門真四宮住宅	日本管財株式会社	3年4月1日 ～ 8年3月31日	全員異議なく可決
議案第88号	・門真市駅北自転車駐車場 ・門真市駅南第2自転車駐車場 ・門真市駅南第3自転車駐車場 ・古川橋駅自転車駐車場 ・大和田駅自転車駐車場 ・萱島駅西自転車駐車場 ・門真南駅機械式自転車駐車場	ミディ総合管理株式会社	3年4月1日 ～ 6年3月31日	全員異議なく可決

図書館は初の導入となる

意見書を可決

以下の2件の意見書を可決し、その内容の実現を求めるため、政府関係機関等へ送付しました。

30人以下学級の推進に関する意見書

これまで、時代の変化に即した新しい教育を実現することが喫緊の課題であるとの認識のもと、少人数学級・指導を推進するとともに、小学校専科教育、特別支援教育、いじめ問題、学校の組織運営の改善などの教育課題に対応する教職員定数の充実を強く求めてきた。

社会のあり方が劇的に変化する中において、誰ひとり置き去りにすることなく全ての子どもたちの多様な個性と可能性が最大限に発揮されるよう、「GIGAスクール構想」のもとでの1人1台端末の効果的な活用とともに、学習履歴（スタディ・ログ）等のデータを分析するために必要なシステムや体制の整備、個別最適な学習計画の作成等により、子どもたち一人一人の特性や学習状況、家庭環境等に応じたきめ細かい教育を推進することが重要である。

また、今般の新型コロナウイルス感染症対応を踏まえ、次なる感染症や災害等の緊急時においても、国内外の全ての子どもたちの学びを保障することができる環境整備を早急に行う必要がある。

よって政府においては、このような状況を踏まえ、下記の事項の実現に万全を期すことを強く求める。

記

- ICTの効果的な活用を含むきめ細かな指導や心のケア、感染症対策の充実に向け、義務教育段階においておおむね30人以下の少人数編成を可能とする学校施設の環境整備及び教職員定数の計画的な改善と指導力の向上を図ること。
- 教員の質の担保を図るため、教員採用試験の抜本的な改革及び教員の多忙化解消を進めること。
- 特別支援教育は、障がいのある子どもたちのため、新しい時代の特別支援教育の構築・推進に向けて、子どもたちの実態を踏まえ、設置基準及び運営指針を具体的に示すなど、必要な改善策を講ずること。

不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書

日本産科婦人科学会のまとめによると、2018年に不妊治療の一つである体外受精で生まれた子どもは5万6979人となり、前年に続いて過去最多を更新したことがわかった。これは実に16人に1人が体外受精で生まれたことになる。また晩婚化などで妊娠を考える年齢が上がり、不妊に悩む人々がふえていることから、治療件数も45万4893件と過去最多となった。

国においては2004年度から、年1回10万円を限度に助成を行う「特定不妊治療費助成事業」が創設され、その後も助成額や所得制限などを段階的に拡充してきている。また、不妊治療への保険適用もなされてきたが、その範囲は不妊の原因調査など一部に限られている。保険適用外の体外受精や顕微授精は、1回当たり数十万円の費用がかかり何度も繰り返すことが多いため、不妊治療を行う人々にとっては過重な経済負担になっている場合が多い。

厚生労働省は、不妊治療の実施件数や費用などの実態調査を10月から始めているが、保険適用の拡大及び所得制限の撤廃も含めた助成制度の拡充は、早急に解決しなければならない喫緊の課題である。

よって政府においては、不妊治療を行う人々が、今後も安心して治療に取り組むことができるよう、下記の事項について早急に取り組むことを強く求める。

記

- 不妊治療は一人一人に最適な形で実施することが重要であるため、不妊治療への保険適用の拡大に当たっては、治療を受ける人の選択肢を狭めることがないよう十分配慮すること。具体的には、現在、助成対象となっていない「人工授精」を初め、特定不妊治療である「体外受精」や「顕微授精」さらには「男性に対する治療」についてもその対象として検討すること。
- 不妊治療への保険適用の拡大が実施されるまでの間については、その整合性も考慮しながら、所得制限の撤廃や回数制限の緩和など既存の助成制度の拡充を行うことにより、幅広い世帯を対象とした経済的負担の軽減を図ること。
- 不妊治療と仕事の両立できる環境をさらに整備するとともに、相談やカウンセリングなど不妊治療に関する相談体制の拡充を図ること。
- 不育症への保険適用や、事実婚への不妊治療の保険適用、助成についても検討すること。



急遽開催された第2回臨時会

一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正については、国家公務員の給与改定及び諸般の状況を踏まえ、一般職の職員、議員、特別職及び会計年度任用職員に支給する2年12月の期末手当について、減額等を行うものです。

本案は、2年11月30日の第2回臨時会上程され、採決に当たっては、反対の立場から討論がありました。起立採決の結果、賛成多数で可決しました。

第2回臨時会

職員等の当額減

次の請願は、本会議に上程され、採決に当たっては、反対・賛成それぞれの立場から討論がありました。起立採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

種苗法「改正」の中止を国に求める請願

請願を不採択

一般質問

12月17日、18日の本会議において、18名の議員が市政に対する質問を行いました。
主な質問と答弁の要旨を3面から6面に掲載しています。(通告順)

質問・答弁の詳細な内容については、市議会ホームページをごらんください。
※第4回定例会の会議録は3月初旬に掲載する予定です。

市議会ホームページでは、本会議録画中継を閲覧できます。

門真市議会インターネット中継

検索

地域猫活動について



松本 京子
(公明党)

どうぶつ基金の活用を提案していたが、市の取り組み状況は。

門真市さくらねこ無料不妊手術チケット（行政枠）利用取扱要領を制定し、11月から利用開始している。また、15件分の無料不妊手術チケットを入手し、登録団体の公平性に配慮し交付している。

子どもsosについて

誰にもいじめの相談ができない子どもへのアプローチについて、市の見解は。

相談できない背景にはさまざまな要因が考えられるが、まずは被害を受けた本人たちに、さまざまな相談先があることを知ってもらい、安心して相談できる窓口をみずから選択できるようにすることが重要だと考えている。

不登校の子どもたちへのオンライン学習について、市の考えは。

有効な学習ツールの一つとして考えており、まずは基礎的な利用方法も含め、子どもたちが端末を活用した学習を行うことができるよう、授業での利用等を進めていく。また、不登校等で長期欠席中の子どもたちが利用することも視野に入れた、オンライン学習の効果的な実施方法等を積極的に検討していく。





坂本 拓哉
(大阪維新の会
緑風議員団)

市内の自習可能施設の 状況と今後の活用について

問 コロナの影響により児童・生徒の進路選定が困難となっている。児童・生徒の将来において、自習の姿勢は普遍的に有用であり、それを支えていく自習可能施設の必要性は高いと考える。文化会館の閉館やコロナ対策により、同施設の席数がさらに減少していく中で、今後受験等で利用希望者の増加が見込まれるが、市の見解は。

答 各施設とも試験期間中の利用が増加傾向のため、そのニーズを

踏まえ、席数確保に向け、各施設の指定管理者等と協議していく。

問 自習環境の向上、庁内ICTや来館者の利用推進の観点からもWiFi環境の導入は有効と考えるが、市の見解は。

答 現在、公民館や市民公益活動支援センターの一部ではWiFi設備が導入されている。また、市民プラザ1階ロビーには避難者の情報収集用に導入しており、平時の利用について検討していく。

問 ホームページや広報紙等の情報提供が不十分であり、自習自習の機会を公平に担保するため工夫すべきと考えるが、市の見解は。

答 定員、利用方法、学習スペースの画像等を集約したページを作成し、幅広い世代の利用者向けにホームページ等で周知していく。



岡本 宗城
(公明党)

門真市一般廃棄物 処理基本計画について

問 本市のごみ焼却施設はいずれも老朽化し、それに伴う維持管理コストの増加が今後の課題と考える。同基本計画に「今後のごみ処理体制のあり方について検討し、早期に方針決定する必要がある」と明記しているが、その理由は。

答 更新時期を迎えているため、今後の施設のあり方を早期に検討し決定することを最重要課題と捉えており、それらの準備や調整等に長期間要することが見込まれる



深田町にあるクリーンセンターとごみ収集車

ことから明記している。

問 方針決定への取り組み状況は。

答 現在、スケールメリットを生かせる広域化の協議を進めているほか、各処理業務の委託等、あらゆる可能性を想定し検討している。



土山 重樹
(自由民主党)

犯罪被害者等の支援について

問 犯罪被害者等の支援のうち見舞金等の支援ができる条例等の整備が必要と考えるが、市の見解は。

答 被害直後に必要となる生活資金等の経済的負担や精神的被害の軽減を図るため、見舞金等の給付は有効な支援策であると認識しており、導入に向け検討していく。

飯盛霊園組合の特例措置について

問 4年3月までの特例措置として、個人墓地から合葬式墓地「虹の丘」への改葬において、使用年

数に応じた返還金を受け取らないかわりに、墓石の撤去等を同組合が代行し、「虹の丘」の使用料も免除されるが、墓じまいなどの負担が大幅に軽減されるため、市民周知すべきと考えるが、市の見解は。

答 今後、同組合はホームページに加え、霊園だよりへも掲載し広く周知を図るため、本市も広報紙等を活用し積極的な周知に努める。

有料自転車駐車場について

問 通勤通学の足として人気の原付二種バイクも利用できるようにすべきと考えるが、市の見解は。

答 古川橋駅、大和田駅、萱島駅にある3施設は原付二種まで、門真市駅にある1施設は大型までとし3年度から運用開始予定である。



大西 康弘
(自由民主党)

ウィズコロナ並びに アフターコロナにおける 産業振興策について

問 ウィズコロナにおける中小・小規模事業者向けの国からの支援策は、資金繰り支援、持続化給付金、家賃支援給付金、ものづくり補助金、小規模事業者持続化補助金、雇用調整助成金の特例措置など多岐にわたっており、市役所窓口、中小企業サポートセンター、守口門真商工会議所と連携して情報提供や申請支援等を行っているが、本市の独自支援策は。

答 「かどまでPayPay! 20%還元キャンペーン事業」や「かどま商店舗応援ステッカー交付事業」や「小規模事業者IT導入促進補助金事業」などである。

問 アフターコロナにおける産業振興策の考えは。

答 国の動向を注視し、将来を見据えた産業振興策を検討していく。

問 門真レンコンを地域資源として、まちおこしに活用する考えは。

答 現在、伝統野菜として知名度が向上しているが、農地保全と出荷量の維持が課題となっている。

今後も伝統野菜栽培促進活用事業を通じて支援するとともに、全国に広く認知されるよう情報発信に努める。



話題沸騰の門真レンコン

令和3年第1回定例会の開催予定

と き		内 容
2月	24日(水)	本 会 議
3月	5日(金)	本 会 議 (代表質問)
	8日(月)	本 会 議 (代表・一般質問)
	9日(火)	総務建設常任委員会
	10日(水)	民生水道常任委員会
	11日(木)	文教こども常任委員会
	18日(木)	本 会 議

※日程は、都合により変更となる場合あり。



市民に寄り添う窓口業務の あり方について



寺西 敬子
(公明党)

問 現在の情報発信方法は。

答 広報かどま、ホームページ及びSNSを中心に施策や取り組み、催しなどの情報を正確かつわかりやすく伝えるよう努めている。

問 電話相談や来庁困難な人へのアプローチについて、市の見解は。

答 訪問等の直接的な支援を実施しているものもあるが、まずは情報発信の工夫で相談しやすいイメージを持つてもらい、接遇等の改善で市民と信頼関係を構築してい

地域防災力について

きたいと考えている。

問 来庁時に、支援が必要な人の対応は。

答 組織間の連携強化を図り、必要な支援を必要な市民が受けられるよう、丁寧な対応に努めている。

問 若い世代の地域防災力向上に向けた市の取り組みは。

答 毎年1月の防災とボランティアの日やその週間に、各小学校へ災害時用備蓄食料を配付し、防災の学びを推進している。また、本年度は北巢本小学校の4年生を対象に、地震をテーマとした被害や避難所の様子、自助・共助の講話、段ボールベットの組み立て体験等、市職員による防災事業を行った。





内海 武寿
(公明党)

脱炭素社会の実現に向けて

問 公明党は、2年1月の通常国会の代表質問において、政府に対し、50年を視野に二酸化炭素等温室効果ガスの排出を実質ゼロとする脱炭素社会の実現を主張した。今後の重要課題である同ガスの排出削減について、市の見解は。

答 国と同様、喫緊の課題と捉えており、門真市地球温暖化対策実行計画に基づき、同ガス削減等の取り組みを積極的に推進している。

問 本市の数値目標は。

答 クールビズの実施や、エコド



池田美佐子
(公明党)

地域に根差した住民サービスの拡充を

問 本市のコミュニティバスは利便性が低く、特に江端方面の市民の中には、買い物の際に大東市のコミュニティバスを利用している人もいると聞き、歯がゆく感じる。一方で、元年のふるさと門真まつりの際に運行された臨時バスは、常に人で溢れており、大きな道を走らずに定時運行で、その路線設定は大変好評であった。路線を拡大し、低負担で自由な移動が可能となると、毎月の家計

ライブの徹底等、職員一人一人によるエコオフィス活動の推進等により、4年度には、同ガス総排出量29年度比で10%以上の削減を目指している。

問 同ガスの総排出量を左右させるプラスチックごみについて、可燃ごみとの分別が重要と考えるが市の見解は。

答 本市は、市民の協力のもと、他市に先駆けて、7種9分別の収集を行ってきたが、可燃ごみの中には、プラスチック製容器包装等、いまだに多くのリサイクル資源が含まれている。今後も、広報紙やごみカレンダーを初め、施設見学や各種講座の機会を捉え、分別の取り組みを積極的に周知していく。



の支出も抑えられ、生活にゆとりが生まれるのではないかと考えるが、市の見解は。

答 今後のコミュニティバスの役割として、交通不便地域の解消に努めるとともに、利便性を高め、さらなる利用者の増加を図ることも重要と考えており、モノレールの南仲や三井不動産株式会社が進める商業施設の開業等を好機と捉え、さらなる利便性の向上に向けて事業者と協議していく。



後藤 太平
(公明党)

府営住宅の移管について

問 10年度には市内全府営住宅が市に移管される予定であるが、地位承継や減免等の制度で市営住宅と府営住宅で相違が見られる。入居者の混乱を招かないよう移管までに調整しておく必要があると考えるが、市の見解は。

答 府で制度の基準等の見直しがあった場合は、市の基準等の見直しについてあらかじめ検討を行い、移管前年度には取り扱いを決定し、入居者へ示す予定である。なお、見直しに当たっては、市



福田 英彦
(日本共産党)

職員の懲戒処分について

問 組合役員の職員二人が、地方公務員法第35条の職務専念義務に違反したとして懲戒処分を受けたが、組合は「不当な処分」との見解を出しており、労使で確認されたガイドラインに基づき勤務時間内にできる組合活動を行っただけで、市民からの通報を当人に知らされたのは7カ月後に突然行われたヒアリング内であり、それまで当人や組合にも知らせず処分をするために情報収集していたとも主張している。処分結論ありきで進

営住宅及び府営住宅の入居者双方にとって大きな不利益にならないよう配慮し、検討を進めていく。

養護老人ホームについて

問 府内に30力所しかない養護老人ホームが本市にあることは大変心強く感じるが、同ホームについて、今後の市の考えは。

答 高齢化の進展に伴い、親族による虐待等、介護ニーズ以外の面で、さまざまな生活の問題を抱える高齢者の増加が見込まれるため、養護老人ホームが果たす役割は重要と認識しており、今後も引き続き、支援を必要とする高齢者に必要な入所措置が実施できるよう努めていく。



められたのではと考えるがどうか。

答 法律上、職員の懲戒については公正でなければならず、顧問弁護士による調査の検討・相談を重ね十分なヒアリングを行っており、処分結論ありきではない。

新型コロナウイルスについて

問 本市における新型コロナウイルスの感染状況の分析と今後の対策は。

答 家族内感染や、医療機関及び福祉施設でのクラスターが断続して発生し、感染の広がりを懸念しており、国・府の分析結果や方針等を踏まえ対策を進めている。今後は、高齢者施設の新規入所者に対するPCR検査の助成等を予定し、国の第3次補正予算も確認し、市民の命と暮らしを守る支援策を検討していく。



大倉 基文
(大阪維新の会
緑風議員団)

公園利用の活性化に向けて

問 魅力ある門真市実現のためには、市民ニーズに沿った公園づくりが必要と考えるが、市の見解は。

答 時代とともに変化する市民ニーズに対応した公園への転換が必要と考え、「門真市パークイノベーション計画」の策定に取り組んでいる。本計画は、今ある公園にそれぞれの役割や機能を持たせ、個々の違



森 博孝
(無所属)

松生町パナソニック跡地に建設予定の大型商業施設について

問 同施設完成後には多くの人が来訪し、市の魅力を発信する絶好の機会が到来すると考えるが、市が期待する効果は。

答 同施設は雇用機会の創出ともなり、職住近接の生活利便性の高いまちとして、魅力の向上、定住の促進につながるとともに、他地域にも波及し、市域全体の発展につながることを期待している。また、モノレール延伸や新駅設置で、相乗効果生まれ、門真市

いを明確化し、公園利用の活性化等を図るもので、計画策定に当たり、ワークショップなどで市民に意見を募り、進めていく。

教職員のさらなる能力向上に向けて

問 今後、コミュニティスクールの推進等、地域や関係諸団体の人たちとの連携がより求められる中、教職員のさらなる資質向上が必要不可欠と考えるが、市の見解は。

答 教職員一人一人が新学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業力」の理解・向上を図ることのほか、他業種や社会を取り巻く動きの理解等を通じ、より見識を深め、マネジメント能力等を育成する各種研修等を実施していく。

駅周辺を含む地域の活性化が期待されるなど、まちづくりが大きく進む起爆剤になると考えている。

問 門真市駅からの歩行動線となる国道163号下の地下道を明るくするためにLED照明や、デジタルサイネージの設置のほか、バリアフリーとしてエレベーターの設置を、国・府へ働きかける必要があると考えるが、市の見解は。

答 あらゆる人が安全に通行できるよう、道路管理者に対し必要な対策を働きかけていく。





滝井 稔元
(大阪維新の会
緑風議員団)

市役所等の駐車場について

問 市役所第1、第2駐車場と第2駐車場東側の砂利敷き駐車場の利用時間は。

答 第1、第2駐車場は8時半から18時まで、砂利敷き駐車場は7時半から22時半までである。

問 砂利敷き駐車場が文化会館、旧六中運動広場専用駐車場になった経緯は。

答 中町地区のまちづくり事業に伴い、同会館の駐車場が道路用地として整備された際、旧六中体育館と旧六中運動広場利用者駐車場

をあわせ、当時更地であった現在の場所を活用したものである。

問 総合体育館の利用者から、駐車場が不足しているとの相談を受けたが、市の対応は。

答 体育館の駐車場は、北側のコインパーキングのみであるが、行事の開催等で駐車場が一時的に不足する場合は、必要に応じて市役所駐車場を開放している。

問 総合体育館の駐車場不足を解消するため、市役所駐車場を機械化すべきと考えるが、市の見解は。

答 他市の状況や市役所駐車場等の利用実態を把握するとともに、市役所駐車場のあり方について調査研究していく。



坂本 大次郎
(公明党)

性の多様性に対する学校の対応について

問 中学校の制服選定の経緯は。保護者等の経済的負担が過重とならないよう留意し、各中学校長の権限において決定する。

問 制服購入に当たっての配慮は。性の多様性を配慮し、上衣は男女

ほぼ同じデザインのブレザーとし、下衣はスラックスやスカートなどから自由に選択することができる。

問 性の多様性に関する教育について、市の取り組みは。教職員の人権感覚を磨き適切

マンホールトイレの整備について

問 今後の整備計画は。各中学校区に1カ所以上の設置となるよう、整備や維持管理に

支障がない避難所6カ所を優先整備することとしている。現在、

沖小と五中の2カ所において施工中であり、4年度末までに残る4カ所を整備する。



池田 治子
(自由民主党)

自習室の整備について

問 本市の中学生たちから、自習室が少ないとの声を聞く。子どもたちにとっては重要な積年の課題だが、拡充について市の考えは。

答 総合体育館での会議室等の開放等、自習室の拡充に向けて指定管理者と協議を進め、市内自習室の情報を整理し、周知していく。

自殺対策について

問 自殺者がふえている。市は基礎自治体として市民の不安に寄り添い、遅きに失することのないよう

う、あらゆる手を先手で打つべきと考えるが、市の取り組みは。

答 SOSガイドブックの配付、小・中学生を対象とした自殺予防講演会の開催、傾聴ボランティア養成講座等を実施しており、今後も関係各課と連携し自殺に追い込まれることのないよう取り組む。

地球温暖化対策について

問 国の環境政策も踏まえ、オンライン形式等を用いて、市民、事業者と共通認識を培い、真の協働による地球温暖化対策を実施すべきと考えるが、今後の取り組みは。

答 市民、事業者、他市町村と連携の上広く情報収集し発信することも重要と考える。オンラインシステムを活用した啓発イベント等、新しい手法を調査研究していく。



亀井 淳
(日本共産党)

こども発達支援センターに指定管理者制度を導入しないで

問 市立肢体不自由児訓練センターとして50年の歴史があり、すばらしい療育が守られてきたことは本市の誇りである。

市直営の同センターに、職員が定着せず、人材確保が困難となる指定管理者制度を導入するべきでない。

また、保護者の要望である開園時間の延長、職員の専門性の確保等は、直営でこそ可能と考えるが、市の見解は。



中道 建
(自由民主党)

ごみ処理施設の更新・基幹改良工事について

問 門真市第6次総合計画の実行に当たって、ごみ処理広域化に向けての協議・検討がより具体化

してきたが、元年度に実施された4号炉及び5号炉に係る更新工事について、市の見解は。

答 施設の運用開始から相当期間が経過している市のごみ焼却施設において、製品として寿命を迎える設備・機器の安定的な機能維持に努めるため、ごみ処理広域化のいかにかわらず、元年度の更



吉水 志晴
(大阪維新の会
緑風議員団)

行政手続における押印について

問 行政手続における押印を原則廃止することで利便性も向上し、窓口でのトラブルも防げると考えるが、市の現状は。

答 申請書等の押印の見直しを行うため、全庁対象として申請書等の押印の状況調査を行っている。

問 今後の市の方向性は。

答 調査結果を早急にまとめるとともに、国が作成したマニュアルな



新工事は必要不可欠であったと認識している。

問 今後予定されている基幹改良工事の実施について、市の見解は。

答 大阪広域環境施設組合に参加し、共同処理を開始するまでの間、ごみ焼却施設改修時や故障時のごみ処理に支援が得られる場合、4号炉は緊急時を除いて休止し、5号炉のみ基幹改良工事を実施する。

引き続き、施設の安定稼働の重要性を踏まえつつ、工事内容の精査による事業費の節減、特定財源の確保など、最適な手法により施設の維持管理等を実施していく。



更新工事が行われた4号炉・5号炉

債権管理課について

問 2年4月に納税課と保険収納課を統合し、債権管理課が誕生したが、その効果は。

答 2課の業務を一本化し、これまで別々に行っていた調査や催告行為をまとめて行うことで、事務の効率化が図られており、今後も収納率の向上に寄与できるよう努めていく。

問 課の名称から滞納や取り立て、借金等のマイナスイメージを持たれることも懸念されるが、名称変更の必要性について、市の考えは。

答 市民が不信任を持つことなく税や保険料を納付できるよう、関係部署と調整し、検討していく。

■市政に対する一般質問の要旨（通告順）

松本 京子（公明党）

1 地域猫活動について

- (1) 現状について
- (2) どうぶつ基金について

2 高齢者施策について

- (1) 非接触型フレイル予防について
- (2) 高齢者等緊急通報装置について

3 子どものSOSについて

- (1) いじめについて
- (2) 不登校について

4 災害対策について

- (1) 分散避難と避難所について
- (2) マイタイムラインについて

坂本 拓哉（大阪維新の会緑風議員団）

1 門真市内の自習可能施設について

- (1) 門真市内での現在の自習可能施設の状況と今後について

岡本 宗城（公明党）

1 門真市一般廃棄物処理基本計画について

- (1) ごみ処理費用の適正化に関する方策について
- (2) ごみ処理体制のあり方について

土山 重樹（自由民主党）

1 犯罪被害者等の支援について

- (1) これまでの市の取り組みについて
- (2) 条例の制定について

2 飯盛霊園組合における市民利用について

- (1) 門真市民の利用割合について
- (2) 合葬墓への改葬の特例について

3 有料駐車場の利用について

- (1) 原付二種の取り扱いについて

大西 康弘（自由民主党）

1 ウィズコロナ並びにアフターコロナにおける産業振興について

- (1) ウィズコロナにおける産業振興策について
- (2) アフターコロナにおける産業振興策について
- (3) 「レンコンのまち門真」の現状と未来について

寺西 敬子（公明党）

1 防災について

- (1) 地域防災力向上に向けた市の取り組みについて

2 窓口業務の改革について

- (1) 市民に寄り添う窓口業務のあり方について

内海 武寿（公明党）

1 脱炭素社会の構築について

- (1) 温室効果ガスの抑制について
- (2) 可燃ごみ減少と選別について
- (3) 3Rの取り組みについて

2 総合的な戦略について

- (1) 総合戦略の検証について
- (2) 人口減少と高齢化について
- (3) 地方創生応援税制について

池田美佐子（公明党）

1 地域に根差した住民サービスのあり方について

- (1) 交通手段の低負担化について

後藤 太平（公明党）

1 市営住宅の状況について

- (1) 来年度以降の管理運営について
- (2) 今後の移管のスケジュールについて

2 養護老人ホームについて

- (1) 本市の養護老人ホームの定員について
- (2) 措置数の現状について
- (3) 今後の市の考え方について

3 門真市学力向上アクションプランについて

- (1) 本市の現状と課題について
- (2) 策定の趣旨について

福田 英彦（日本共産党）

1 職員の懲戒処分について

- (1) 処分に至る経過について
- (2) 労使合意された「職員団体等との交渉等に関するガイドライン」について
- (3) 市民の通報から処分に至るまでの当事者への注意等や「ガイドライン」に関する協議の有無について

2 新型コロナウイルス対策について

- (1) 新型コロナ対策よりも大阪市廃止住民投票を優先させた維新大阪府・市政と無為無策の政府に対する認識について
- (2) 市独自の新型コロナ対策の現状と今後の考えについて

大倉 基文（大阪維新の会緑風議員団）

1 市道について

- (1) 現在の状況・課題について
- (2) これからの道路施策について

2 門真市の公園について

- (1) 現状と課題について
- (2) 市民の皆様から寄せられる要望について
- (3) 今後の考え方について

3 門真市学力向上アクションプランについて

- (1) 目標達成への課題について
- (2) P D C Aサイクルの考え方について
- (3) 教職員のさらなる能力向上について

森 博孝（無所属）

1 松生町に今後建設予定の大型商業施設について

- (1) 門真市としての大型商業施設への期待について
- (2) 周辺整備について

滝井 稔元（大阪維新の会緑風議員団）

1 「市役所駐車場など」について

- (1) 来庁者と旧第六中学校運動広場、文化会館、総合体育館利用者の駐車場について

坂本大次郎（公明党）

1 性の多様性に対する学校の対応について

- (1) 本市の中学校の制服について
- (2) 学校での取り組みについて

2 門真市下水道総合地震対策計画について

- (1) マンホールトイレの整備について

池田 治子（自由民主党）

1 自殺対策について

- (1) 自殺者数の現状について
- (2) 門真市の取り組みについて

2 自習室の整備について

- (1) 拡充について

3 地球温暖化対策について

- (1) 門真市環境基本計画のうち低炭素社会の構築施策の進捗状況について
- (2) 生活環境の保全施策の進捗状況について
- (3) 今後の取り組みについて

亀井 淳（日本共産党）

1 こども発達支援センターへの指定管理者制度の導入はしないことについて

- (1) 同施設の現状について
- (2) どのような経過で指定管理者制度を導入することが検討されることになったのかについて
- (3) 現在どのような議論がされているかについて

中道 建（自由民主党）

1 クリーンセンター施設棟運転維持管理事業について

- (1) ごみ処理広域化にかかわる更新工事・基幹改良工事について

吉水 志晴（大阪維新の会緑風議員団）

1 行政手続における押印について

- (1) 押印の現状について
- (2) 今後の方向性について

2 組織・機構について

- (1) 債権管理課の業務について
- (2) 名称について

第2回臨時会・第4回定例会で 審議した案件と議決結果			会派名	公 明 党							大阪維新の会 緑風議員団					自由民主党				日本 共産党		無所属	議決結果			
			議員名	寺西 敬子	坂本 大次郎	池田 美佐子	松本 京子	後藤 太平	岡本 宗城	内海 武寿	滝井 稔元	坂本 拓哉	大倉 基文	吉水 志晴	五味 聖二	今田 哲哉	中道 建	大西 康弘	池田 治子	土山 重樹	福田 英彦	亀井 淳		森 博孝		
議案番号		議案名																								
条 例	議案第79号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	○	可決	
	議案第89号	門真市東部大阪都市計画地区計画（北島東第2地区）の区域内における建築物の制限等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第90号	門真市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例及び門真市こどもの医療費の助成に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第91号	門真市重度障がい者の医療費の助成に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
その他の議 案	議案第80号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第81号	大東市道路線の区域外認定の承諾について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第82号	動産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第83号	動産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第84号	動産の取得の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第85号	門真市立公民館及び門真市立門真市民プラザの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第86号	門真市立図書館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	○	可決	
	議案第87号	門真市営住宅の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第88号	門真市有料自転車駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決		
補正予算	議案第92号	令和2年度門真市一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	○	可決	
	議案第93号	令和2年度門真市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第94号	令和2年度門真市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第95号	令和2年度門真市水道事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第96号	令和2年度門真市公共下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第98号	令和2年度門真市一般会計補正予算（第12号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	○	可決	
人事案件	議案第97号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	同意	
決算案件	議案第59号	令和元年度門真市水道事業剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案第60号	令和元年度門真市公共下水道事業剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
	認定第1号	令和元年度門真市歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	○	認定	
	認定第2号	令和元年度門真市水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	認定	
	認定第3号	令和元年度門真市公共下水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	認定	
議員提出議 案	議員提出議案第5号	不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議員提出議案第6号	30人以下学級の推進に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	
請 願	請願第1号	種苗法「改正」の中止を国に求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	○	○	×	不採択		

※表の見方 『○』は賛成、『×』は反対。会派名は大会派・公党順、議員名は議席順。

議 会 活 動 日 誌 (令和2年11月1日～令和3年1月31日)

- 11・ 9 河北市議会議長会
 10 大阪府市議会議長会総会
 13 大阪広域水道企業団議会定例会
 24 後期高齢者医療広域連合議会定例会
 30 議会運営委員会
 第2回臨時会
 議会運営委員会
12・ 3 議会運営委員会
 7 本会議（第4回定例会開会）
 8 総務建設常任委員会
 9 民生水道常任委員会

- 12・ 10 文教子ども常任委員会
 11 議会運営委員会
 17 議会運営委員会
 本会議
 18 本会議（第4回定例会閉会）
 23 飯盛霊園組合議会定例会
 25 守口市門真市消防組合議会定例会
 くすのき広域連合議会定例会
 28 仕事納め
1・ 4 仕事始め

